

令和5年度 学校評価アンケート結果報告

平支援学校

「学校評価アンケート」へのご協力いただき、ありがとうございました。

令和5年度の学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。

昨年度と同じくアンケート結果を数値に置き換えて分析評価を行い、本校の学校経営・運営ビジョンにおいて示している「子どもとともに」「地域とともに」「仲間とともに」の3つの視点から考察し、改善策の検討を図りました。評価の各数値(指数)の目安は、次のとおりです。

- ① 1.5～2.0 = 「とても良好な状態」
- ② 1.0～1.4 = 「良好な状態」
- ③ 0.0～0.9 = 「改善が必要な状態」
- ④ 0.0 未満 = 「緊急的な対応が必要な状態」



1 保護者アンケートの評価結果

I 子どもとともに（授業の充実）

【各項目の評価結果】

- | | |
|--|------|
| ① お子さんは、学校の授業をうけることを楽しみにしていますか。 | 1.68 |
| ② 学校は、ICTの活用や体験的な活動を通してお子さんの思考、判断、表現力を育てていますか。 | 1.50 |
| ③ 学校は、学校医や看護師等と連携を密にし、お子さんの健康な身体を育てていますか。 | 1.68 |
| ④ 学校は、社会参加・自立に向け、お子さんに合った教育を行っていますか。 | 1.60 |

II 地域とともに（連携の推進）

【各項目の評価結果】

- | | |
|--|------|
| ⑤ 学校は、教育の目標や方針を、学校説明の資料や学級懇談・個別懇談などで分かりやすく、保護者に伝えてありますか。 | 1.56 |
| ⑥ 学級担任は、保護者と連携を図りながら、個別の教育支援計画を作成していますか。 | 1.77 |
| ⑦ 通知表や個別懇談などで、学習の目標や内容、評価を分かりやすく伝えてありますか。 | 1.81 |
| ⑧ 学校は、地域の学校と交流及び共同学習を行っていることをご存じですか。 | 1.81 |
| ⑨ 学校は、早期教育相談「あ・そ・び・ば」や教育相談など、地域への支援を行っていることをご存じですか。 | 1.75 |

III 仲間とともに（専門性の向上）

【各項目の評価結果】

- | | |
|---|------|
| ⑩ 学校は、お子さんや保護者の悩みや相談に専門的な立場から親身になって応じてくれますか。 | 1.56 |
| ⑪ 個別の指導計画や指導方法の引継ぎを密にして、教師間や学部間で継続した指導を行っていると思いますか。 | 1.77 |
| ⑫ 授業はお子さんにとって分かりやすく、成長に合わせて発展的な指導がなされていると思いますか。 | 1.81 |

2 地域アンケートの評価結果

I 子どもとともに（授業の充実）	
【各項目の評価結果】	
① 子どもたちの学校での様子は、楽しそうですか。	1.60
② 学校は、ICT（情報通信技術）の活用や体験的な活動を取り入れながら授業を行っていますか。	1.30
③ 学校は、心身共に健康な子どもの育成に取り組んでいますか。	1.90
④ 学校は、将来働くことへの意義や喜びについて学べるような授業を行っていますか。	1.10
II 地域とともに（連携の推進）	
【各項目の評価結果】	
⑤ 学校は、学校通信やホームページなどを通して情報提供に努めていますか。	1.60
⑥ 学校は、子どもが地域で生活するために個に応じた適切な支援が行えるように、個別の教育支援計画を活用しながら地域と連携を図っていますか。	1.40
⑦ 学校は、交流学習や校外学習など地域とのつながりを深めるよう努めていますか。	1.60
⑧ 学校は、地域の幼稚園や小・中学校など、校外への支援に取り組んでいますか。	0.70
III 仲間とともに（専門性の向上）	
【各項目の評価結果】	
⑨ 学校の教育目標や努力目標は、子どもや地域の実態に合った適切な内容となっていますか。	1.30
⑩ 子ども一人一人が大切にされている学校になっていますか。	1.80
⑪ 教師は、ICT（情報通信技術）を活用しながら授業を工夫したり相互に協力したりしながら子どもの指導にあたっていますか。	1.20
⑫ 教職員は、来校時など適切な対応をしていますか。	1.80



3 児童生徒アンケートの評価結果

I 子どもとともに（授業の充実）	
【各項目の評価結果】	
① 学校（学級）は楽しいですか。	1.72
② あなたの身体や健康に関することを、わかりやすく教えてください。	1.66
③ あなたの進路の参考となる話を、わかりやすく教えてください。	1.48
II 地域とともに（連携の推進）	
【各項目の評価結果】	
④ 学校に何でも話せる友達はいますか。	1.41
⑤ 皆さんが中心となって参加できる学校行事になっていますか。	1.86
⑥ 校外学習や交流学習は楽しい（勉強となる）活動になっていますか。	1.90
⑦ 先生は、あなたの家族（お父さん・お母さん）とよく話をしていますか。	1.79
III 仲間とともに（専門性の向上）	
【各項目の評価結果】	
⑧ 授業はわかりやすいですか。	1.69
⑨ 授業の内容や進め方は、あなたに合っていると思いますか。	1.66
⑩ 相談や悩みなど、気軽に先生に相談できますか。	1.55

4 教職員アンケートの評価結果

I 子どもとともに（授業の充実）	
【各項目の評価結果】	
① 児童生徒の思考、判断、表現力を育成するとともに、体験的な活動を通して主体的に学ぶ授業を行っている。	1.32
② 保護者や学校医、看護師等と情報を密にして安全・安心な環境を整え、健やかな体を育てている。	1.59
③ 自立と社会参加に向け、キャリア教育の視点に立って授業の充実を図って取り組んでいる。	1.33
II 地域とともに（連携の推進）	
【各項目の評価結果】	
④ 保護者との話し合いを通して個別の教育支援計画を策定し、地域で生活するための課題の把握と個に応じた適切な支援を行っている。	1.32
⑤ 交流及び共同学習や地域の中での様々な活動を通して社会性を育み、児童生徒が地域の中で共に学び、共に生きる基盤を整えている。	1.07
⑥ 早期教育相談教室「あ・そ・び・ば」を開催したり、地域の保育所や幼稚園、小・中・高等学校等への教育的支援を行ったりするなど、地域への支援を行っている。	1.58
⑦ よつ葉新聞や進路だよりの発行、本校のホームページを通して学校の取り組みを地域の人々に積極的にわかりやすく伝えている。	1.54
III 仲間とともに（専門性の向上）	
【各項目の評価結果】	
⑧ 研究授業や 校内研究、各種研修会や講習会等を計画的に行い、専門性の向上を図っている。	1.62
⑨ 地域の学校に対しても研修の場を提供し、指導支援に取り組んでいる。	1.36
⑩ 児童生徒の育成すべき資質や能力を明確にし、個別の指導計画の活用・改善を図りながら教師間で共有し、系統的・発展的な指導を行っている。	1.29
⑪ ICT についての研修等を計画的に行い、ICT 活用環境の整備に取り組んでいる。	1.09

5 評価分析と考察

【Ⅰ 子どもとともに（授業の充実）】

「とても良好な状態」という評価が多かった。授業に関しては、ICT を活用し、体験的な活動を取り入れながら、思考・判断・表現力を高めることができるよう工夫している。このことが、児童生徒の主体的な学びとなり、授業の楽しさへつながっていると考えられる。また、地域資源を活用して校外学習や現場実習等を行ったことで、児童生徒が自分の将来や社会参加というところを意識することができるようになった。しかし、児童生徒が授業内容を自立や社会参加に関係するものとして理解できていなかったり、進路や将来の生活に関して不安に思っていたりする姿を目にすることもある。このことが、教職員の評価が大きく伸びていない要因の一つと考えられる。今後は、キャリア教育や進路学習の充実といったところにも目を向け、児童生徒が将来の自分を意識しながら学習に取り組めるようにしていきたい。

【Ⅱ 地域とともに（連携の推進）】

「とても良好な状態」という評価が多かった。交流及び共同学習や「あ・そ・び・ば」に関しては、年間を通して計画的に実施し、活動の様子についても学校ホームページや学校新聞等に掲載して校外にも情報を発信するようになっている。このことが、地域とのつながりとなり、評価がよくなった要因と考えられる。交流及び共同学習に関しては、これまでコロナウイルス感染症予防により実施をひかえていたが、本年度より学習を再開した。本校、相手校とも手探りの中計画実施してきたため、学習をもっと深め充実させることができるのではないかとこの反省が教職員からだされている。児童生徒が学校生活だけではなく、地域の中での社会生活も充実し、楽しむことができるよう、今後、地域教育資源を積極的に活用するとともに、教育活動における児童生徒の様子を地域に広く発信していくようにしたい。

【Ⅲ 仲間とともに（専門性の向上）】

「良好な状態」以上の評価が得られており、特に保護者アンケート、児童生徒アンケートの結果は「とても良好な状態」となっている。本校では、校内研究、各種研修会や講習会等を計画的に行い、専門性の向上に努めている。また、児童生徒の育成すべき資質や能力の把握や子どもの成長に合わせた系統的・発展的な指導を心がけて授業を行ったり、研究を進めたりしていることが評価の向上へつながったと考えられる。しかし、周囲からの評価が良好なのに対し、教職員の評価が伸び悩んでいる。教職員からは、今後も個別の指導計画や年間指導計画の整理・活用について考え・改善していくことが、今後の系統的・発展的な指導を進めていく鍵になるのではないかとこの意見もあった。また、ICT の活用においてもっと充実させられるのではないかとこの点もあげられている。これらのことについては、研究会や講習会で得た知識や技術を授業実践に生かしていくことや周囲の教員と協力し合いながら学校全体で実践力を高めていけるようにしたい。